ボランティアビューローだより

震災支援の鶴見区民まつり

9月11日の日曜日、「がんばろう鶴見から!」をサブテーマに掲げ、東日本大震災の支援事業の一環として行われた鶴見区民まつりに、鶴見区社会福祉協議会と鶴見区ボランティア連絡会は、ハナミズキホール(旧水の館ホール)内にブースを設け参加しました。

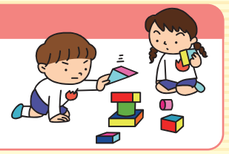
鶴見区ボランティアビューローに登録している10のグループから構成されている鶴見区ボランティア連絡会のコーナーでは、各グループの活動が写真やイラストで紹介されたポスターが貼られ、活動の一環として作成した作品が紹介されました。また、点字を実際に打ったり、手作りおもちゃを作ったり、子どもからおとなまで体験できるコーナーを出展し、多くの来場者の方にボランティア活動をPRしました。

もう一つのコーナーは今年も車いすの自走体験です。自分で車いすをコントロールできるように身長130センチメートル以上の方に体験していただくことになっており、昨年できなかった小さなお子さんも「今年は乗れる〜」と、初めての体験にわくわくされていました。実際に乗ってみると気づくことも多く、お母さんに感想を聞かれていろいろと話しながら帰って行かれる様子を拝見すると、体験を通じて障がいの理解を深めたり、家族で障がいや災害について話したりするきっかけになれたのではないかと思います。

今回は共同募金の配分金を活用して作った「ボランティアビューロー」と「社会福祉協議会」ののぼりのお披露目でもありました。こののぼりは来場者の皆様のお目に留まるようにと、目立つ色合いで製作したものです。これからも在宅サービスセンターの玄関や行事の際に使用しますので、見かけたらお声かけください。

災害が起こった時、まわりの困っている人に声をかけられる人になれるように、想像力を活かして、その人に寄り添えるよう、いろいろな機会を通して、働きかけをしていきたいと思っています。

鶴見区おもちゃ図書館「たんぽぽ」が設立10周年を迎えました



2001年7月に誕生した「たんぽぽ」が今年で10周年を迎えました。障がいのある子どもも、ない子どもも共に遊び、交流し育ち合うことを目指して、多くの方に支えられてここまできました。これまでに関わってくださった皆様に感謝いたします。またこれからもさりげなく、でもたくましくたんぽぽのようにこの鶴見の地で咲いていたいと思います。皆様、末永くよろしくお願いします。

団塊・シニア世代地域活動参加促進事業「パートナー養成講座」

第1.5弾「Wordを使って手作りのフォトブックを作ろう!」好評のうちに終了!

第1弾の募集の際、定員10人のところ、50代から80代まで、30人の応募がありましたので、急遽第1.5弾を平成23年6月3日(金)に開催しました。ご家族の記念写真や、お孫さんの晴れ姿、夫婦の退職記念旅行など、思い出のシーンが世界にたった一つのアルバムに甦りました。小さな夢を実現したり、パートナーとの会話もいつにも増して弾んだかも知れません。

次回もまた楽しくて、ためになる講座を開催したいと思います。乞うご期待!

使用済み切手や使用済みカードを集めています!

最近は携帯電話でいろいろなことができ、切手やカードを使うことが少なくなって来ましたが、鶴見区ボランティアビューローでは、月1回ボランティアさんが、集まった切手やカードの整理をしてくださっています。お家に眠っている使用済みの切手やカードが国際ボランティアの役に立ちます。在宅サービスセンターの窓口に収集箱を置いていますので、開館時間内なら、いつお持ちいただいても大丈夫です。カードは病院のテレビカード以外なら回数カードでも構いません。是非お待ちしています。

ボランティアに関するお問い合わせは

鶴見区ボランティアビューロー
TEL06-6913-7070 FAX06-6913-7676
●開館時間／午前9時〜午後5時(日祝休館)
●担当／藪田

ペットボトルキャップの回収をしています。

ゴミとして焼却するとキャップ400個分で3,150gのCO_2が発生します。

回収すると環境保護や資源のリサイクルに役立ち、“エコキャップ”と呼ばれます。

エコキャップ800個で子ども1人分のポリオワクチンがユニセフ等を通じて必要な国に届きます。

- 回収しているのは、飲料用ペットボトルキャップのみです。キャップは、洗って乾かしてから出してください。
- シール(値札・キャンペーンシール等)は、取り除いてください。

鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぷ」

●●ありがとうございました●●

みなさまのご協力で、エコキャップを多数回収しました。

- エコキャップ搬出量……299,200個
- ポリオワクチン……374人分
- CO_2削減 ……2,356kg

〈平成23年9月5日現在〉

Tsurumiku Council of Social Welfare

鶴見区社協だより

2011年11月
第46号

【編集・発行】社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会
〒538-0051 鶴見区諸口5丁目浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター内 ☎06-6913-7070 FAX06-6913-7676
http://www.tsurumi-kushakyo.or.jp/

高齢者福祉月間

高齢者訪問

今年も各地域社会福祉協議会やネットワーク委員会をはじめ地域の方々のご協力を得て、区内にお住まいの高齢者の居住調査をしていただいた結果、80歳以上の高齢者は4,546人で、昨年より278人の増加となりました。そのうち、11人の方が、今年度中に100歳の誕生日を迎えられます。

お祝い品の配付

鶴見区社会福祉協議会では、高齢者福祉月間事業の一環として、9月20日(火)に、今年度100歳になられる今津地域の藤井マサヱさん、榎本地域の髙田美與野さんのお二人を訪問し、木村武史区社会福祉協議会会長、辰己一也区長、佐藤暢哉区老人クラブ連合会会長をはじめ、地域の皆さんとともに、ご長寿をお祝いしました。また、高齢者の居住調査の結果をもとに、90歳以上の皆様全員に地域社会福祉協議会を通じて、鶴見区社会福祉協議会からご長寿のお祝い品を贈呈いたしました。

各地域での取り組みの様子

各地域でも敬老会の開催やお祝い品の贈呈など、様々な敬老行事を実施されました。

お祝い品は、各地域社協の役員さんやネットワーク委員、ふれあい員さん等が地域にお住まいの高齢者の方の各家庭を一軒一軒訪問し、手渡しされました。また、敬老会は、各地域、カラオケや小学生のダンスなど工夫を凝らした内容で盛大に実施され、来られた方々は楽しいひとときを過ごされていました。

高齢者福祉月間事業は、毎年10月から12月にかけて実施される共同募金運動で集められた募金の配分金を使用して実施しています。今年度も、共同募金へのご協力よろしくお願いします。

賛助会員を募集しています

鶴見区社会福祉協議会の事業は、補助金や共同募金配分金のほか、みなさまからの会費などにより成り立っています。

会員会費は安定した自主財源として、区社協、地域社協のより充実した事業に欠かせないものです。

どうぞ、事業にご賛同いただきご協力をお願いします。

年会費(4月〜3月)

●個人	●法人
1口 1,000円	1口 10,000円

※口数に制限はありません。※年間を通じて受付をしています。

回覧														

区社協だよりは、一部共同募金配分金により作成しています。